

デザインの中で
障害のあるアーティストと
パラリンピアンを応援します



オンライン講演会・
ワークショップも開催!

おおいた
巡回展

JAGDAつながりの展覧会 Part 3

フレフレハンカチ

JAGDA Outreach Exhibition Part 3 Hurray Hurray Handkerchiefs in Oita

2021.6.18 fri.—6.28 mon 10:00—19:00 会期中無休・入場無料

会場：大分県立美術館 (OPAM) 1階アトリウム

主催：公益社団法人 日本グラフィックデザイナー協会 (JAGDA) 大分地区 JAGDA
おおいた障がい者芸術文化支援センター

日本グラフィックデザイナー協会 (JAGDA) は、2018年から3年間、デザインの“つなぐ力”を使って障害のあるアーティストとパラリンピアンを応援しています。Part1 マスキングテープ、Part2 タンブラーに続き、Part3はハンカチを制作しました。障害のあるアーティストの作品ライブラリー「エイブルアート・カンパニー」登録作品(一部除く)をもとにデザインし、一辺にスティックを挿して応援フラッグとしても使える、まさに「フレフレハンカチ」です。いよいよ東京オリンピック・パラリンピックの2021年。東京ミッドタウン・デザインハブから大分に巡回し、展示・チャリティ販売し、デザイナーは職能を活かしたボランティアで参加、アーティストへの作品使用料や製造原価を除く販売収益を日本パラリンピアンズ協会に寄付します。ぜひ皆さんのお気に入りを見つけてください。

Since 2018, the Japan Graphic Designers Association (JAGDA) has been supporting artists and athletes with disabilities by making the most of design's power to connect. Part 1 featured masking tape, while Part 2 featured tumblers. The theme for Part 3 is handkerchiefs that can be turned into a flag, so you can show your support by inserting a stick on one side for 2021, when the Tokyo Olympics and Paralympic Games will be held. As with Part 1 and 2, member designers select works (excluding some) registered at Able Art Company, and design a handkerchief. The handkerchiefs have been on show starting at Tokyo Midtown Design Hub and travel across Japan with sales going to charity. Designers put their professional skills to use as volunteers, and donate the proceeds of sales, minus the artists' usage fees and manufacturing costs, to the Paralympians Association of Japan. Please have a look at the handkerchiefs, and we hope you find a design that catches your eye.



浅田かおり | 大分
岩崎丈展(*) | 大分



越田剛史 | 大分
藤田望人 | 大分



大谷良輔 | 大分
希美(*) | 大分



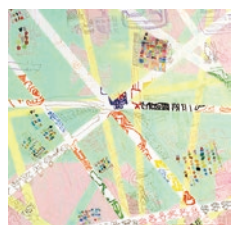
甲斐尚之 | 大分
尾崎文彦 | 東京



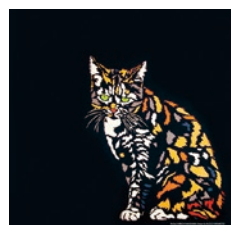
数野美子 | 大分
姫野 暁 | 大分



西口顕一 | 大分
一ノ宮里江(*) | 大分



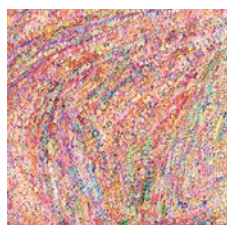
廣瀬 剛 | 大分
阿部和隆(*) | 大分



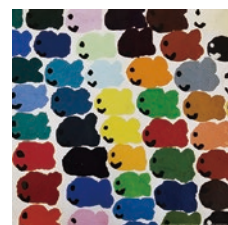
古本和夫 | 大分
中島真一(*) | 大分



Michi18 | 大分
渡邊謙治(*) | 大分



森 海里 | 大分
後藤春枝(*) | 大分



森竹俊象 | 大分
岡本英明(*) | 大分



米村知倫 | 大分
網中 颯(*) | 大分

上:デザイナー 下:アーティスト *エイブルアート登録外

作品(ハンカチ)概要

デザイン: JAGDA会員172名による172種類
原 画: エイブルアート・カンパニー登録アーティスト75名
その他15名によるアート作品
仕様: 35cm×35cm / 綿100% / 日本製 / 長さ45cmの木製スティック付
制作: 株式会社ヤエザワ
価格: 1枚1,500円(税込)

販売

2021年の間、全国の巡回会場およびJAGDA Online Shopで販売し、製造原価を除く販売収益を日本パラリンピアンズ協会へ寄付します。

協力・寄付先

アーティストエージェンシー: **エイブルアート・カンパニー** <https://ableartcom.jp/>
障害のある人がアートを仕事にできる環境作りを目指し、全国の障害のあるアーティストから応募された作品を審査、登録し、広告や商品のデザインに活かすことで、アーティストたちの社会参加や収入支援につなげている。2021年現在、登録作家数119人、登録作品数13,427点を擁する日本最大級の作品ライブラリー。

寄付先: **一般社団法人日本パラリンピアンズ協会** <https://www.paralympians.jp/>
パラリンピックに日本代表として出場した経験のある選手有志による選手会。パラリンピアンズ同士がつながり、国内外のスポーツ団体、アスリートたちと連携しながら、誰もがスポーツを楽しめる社会の実現に向けて活動している。活動のキャッチコピーは、「突きぬける! We can make a paradigm shift。」

企画・問合せ

公益社団法人日本グラフィックデザイナー協会 (JAGDA) <https://www.jagda.or.jp/>
1978年設立。会員3,000名を擁するアジア最大級のデザイン団体。年鑑の発行、展示会やセミナー、地域振興や国際交流、デザインの権利保護など、グラフィックデザインの力を通じたコミュニケーション環境の質的向上のために様々な活動を展開している。
Tel 03-5770-7509 exh@jagda.or.jp

JAGDAつながりの展覧会Part3 フレフレハンカチ おおいた巡回展

日時: 2021年6月18日(金) - 6月28日(月) 10:00 - 19:00
会場: 大分県立美術館(OPAM) 1階アトリウム
販売: 期間中は会場でも作品(ハンカチ)をご購入いただけます。※数に限りあり

福島県 講演会「デザイン×福祉が生み出す新たな可能性」 **オンライン**

日時: 2021年6月19日(土) 10:00 - 12:30
定員: 先着250名 ※要予約

福島県 ワークショップ「対話型アート鑑賞」 **オンライン**

対話型アート鑑賞は、自発的で能動的なアート鑑賞法です。作品を見て気づいたこと、想像したことを自由に楽しく語り合うことにより、「他者理解」「創造的思考力」「チームビルディング」「マインドフルネス」などを高める効果があります。

日時: 2021年6月19日(土) 14:00 - 16:00
定員: 先着50名 ※要予約

講演会・ワークショップ お申し込み先

<https://artbrut-oita.com/event/jagdaoita2021/>
「おおいた障がい者芸術文化支援センター」ウェブサイトからお申し込みください。

申込締切: 6月14日(月)まで ※先着順・定員になり次第締切



大分県立美術館(OPAM)
〒870-0036 大分市寿町2番1号
Tel 097-533-4500

おおいた巡回展に関する問合せ

▶ JAGDA 大分
hirotake@oita-u.ac.jp
▶ おおいた障がい者
芸術文化支援センター
Tel 097-533-4505(平日9:00-17:00)
artbrut-oita@emo.or.jp